

第10回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成25年1月15日（火） 16：30－17：30

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、松本委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

山本内閣府特命担当大臣（宇宙政策）、伊達内閣府副大臣、島尻内閣府大臣政務官、清水内閣府審議官、西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官 他

4. 議事要旨

冒頭、山本大臣、伊達副大臣、島尻大臣政務官から以下のような挨拶があった。

山本大臣：

- ・宇宙政策委員会の皆様方におかれては、7月の委員会設置以降、月2回のペースで精力的にご議論いただいていると伺っており、感謝申し上げます。
- ・政府としては、宇宙基本計画案を12月にパブリックコメントに付しており、宇宙基本計画案を1月中にも宇宙開発戦略本部で決定したい。
- ・計画案は、メリハリのついた計画になっており、しっかりと産業競争力強化につなげる必要がある。
- ・また、本日は、宇宙関連の補正予算や修正後の概算要求について、委員会でとりまとめた「宇宙開発利用に関する経費の見積り方針」を勘案したものになっているか、チェックしていただく。私は今後、この方針を名は体を表すべきと考え、「戦略的予算配分方針」と呼ぶこととしたい。

伊達副大臣：

- ・宇宙政策委員の皆様方におかれては、「戦略的予算配分方針」、「新たな宇宙基本計画案」のとりまとめにご尽力いただいていると伺っている。
- ・宇宙政策は年間約3000億円の国家予算を投入する重要な国家戦略の大きなプロジェクトの一つである。
- ・しかし、それを担う宇宙産業は、宇宙基本計画案でもご指摘いただいているとおり、国際競争力が不十分であるなど、これまでの国の投資が十分生かされていない状況にあり、今後は、宇宙産業の振興に関係省庁が連携して取り組むべきと思う。
- ・委員の皆様方におかれては、厳しい財政事情の中ではあるが、効果的な宇宙政策、宇宙予算の在り方につき、ご提言いただきたい。

島尻内閣府政務官：

- ・宇宙政策は大変に重要なものだとは認識している。私個人としても、宇宙に対して大変興味を持っている。
- ・これからの宇宙政策は、国際的な視野をもって、国家戦略として積極的に進めるべきものと考えている。
- ・確固とした産業基盤の維持や、宇宙産業の市場の拡大が必要であり、我が国宇宙産業の海外展開が大変重要である。
- ・政府としても、インフラ海外展開など、積極的に支援して参るので、委員の皆様方におかれても、積極的にご議論いただきたい。

(1) 宇宙基本計画（案）に対する意見募集の結果についての状況（報告）及び宇宙基本計画等（案）について（報告等）

上記の議題に関して、事務局から資料1～3について説明があり、本議題に対して、委員から以下のような意見があった。資料3「宇宙基本計画（案）に係る工程表等について（案）」については、委員会として了承された。

○パブリックコメントの中にも同様の意見があったが、10年程度を視野においた5年間の計画よりも、もっと長期的なビジョンを委員会として検討すべき。

○パブリックコメントは世の中で注目されており、早期に公開すべき。

(2) 平成24年度補正及び平成25年度概算要求ヒアリング

上記の議題に関して、事務局から資料4～6、内閣官房、内閣府、警察庁、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、防衛省から資料7-1～7-8について説明があり、質疑を行った。

以上